



みなさま、こんにちは。立憲民主党・千葉県議会議員 松戸市選出の安藤じゅん子です。
 2022年も早いもので残すところひと月、どんな一年でしたか？ 来年はどんな一年にしましょうか？
 コロナでさまざまな機会が形を変えています。来年はまず1月8日に開催予定の松戸市七草マラソン大会出場に向けて久しぶりに体を動かしています。
 来年は千葉県が生まれて150年目、松戸市が生まれて80年目の大きな節目を迎えます。皆でお祝いしたいですね。また来年は関東大震災から100年です。地震、水害などに対する防災意識を持って命を守る行動とそのための情報確保をお願いします。機会がありましたら防災に関する地域研修にご参加され知識をアップデートいただくこともおすすめです。
 9月議会閉会日に会派として行った予算制度要望では担当の文教分野のみならず、市民・県民の皆様からいただいたご要望をしっかりと盛り込むことができました。改選前、最後の議会である来年2月議会では予算委員をつとめます。張り切ります。
 以下9月議会のご報告をぜひご一読ください。引き続き県政へのご意見ご要望をお待ちしております。よろしくお願ひ申し上げます。

9月議会代表質問は県立高校のICT化など17項目を問う

千葉県議会9月定例県議会では、安藤じゅん子が所属する会派、立憲民主・千葉民主の会から網中肇議員が代表質問に登壇しました。代表質問は、会派のなかで、それぞれ担当を割り振り調査や質問項目の作成を行っています。今回の代表質問において、安藤じゅん子は県立高校のICT化に関する質問を担当しました。

県立高校のICT化について

質問 県立高校の一人一台端末の整備について、どのように取り組んでいくのでしょうか。

富塚教育長 小中学校でのICTを活用した学びが進む中、県立高校においてもICTを活用した学習活動の充実が大切であると認識しています。

県教育委員会では、これまで、すべての県立学校に高速大容量のネットワークを新設し、生徒所有の端末のほか、県が整備したタブレット端末や、コンピュータ教室のパソコンも併用しながら一人一台端末環境での授業の実践を推進してきたところです。

県立高校の一人一台端末整備にかかる財政措置の拡充については、引き続き、全国都道府県教育長協議会等を通じて国に働きかけてまいります。

質問 今後、ICTを活用した教育の充実について、どのように進めていくのでしょうか。

富塚教育長 県教育委員会では、すべての教員がICTを活用した指導ができるよう、機器の操作に関する研修に加え、授業での具体的な活用方法やプログラミングの研修を実施するなど教員の指導力向上に努めています。

また、「GIGAスクール運営支援センター」を本年8月末に設置し、必要に応じ、同センターの職員が直接学校に赴き、生徒所有端末のインターネットへの接続や、授業でのICT機器の活用について相談にのるなど、県立学校への支援を開始したところです。

今後も、授業での効果的な活用を広げていく取組に加え、新たにIT企業など情報に係る専門家等を活用した実践的な研修を実施するなど、ICTを活用した教育の更なる充実に積極的に取り組んでまいります。

会派要望 県立高校における早期の一人一台端末整備の実現に向け、生徒購入に際しては、生徒の家庭・経済環境も留意し、補助を行うことを検討していただきたい。

「GIGAスクール運営支援センター」について、専門家としてのコーディネート力を発揮し、県立高校におけるGIGAスクール構想を推進していただきたい。



県立学校における生理用品の無償提供について

質問 県立学校における児童生徒への生理用品無償提供について、県立中学校及び高等学校に対して実施したアンケート結果はどうでしょうか。また、その結果についてどのように考えているのでしょうか。

富塚教育長 千葉県教育委員会では、本年1月から、全ての県立学校において、従来の保健室等における対面での提供と併せて、トイレ等における非対面での生理用品の提供を開始したところです。

県立中学校及び高等学校に対して、本年6月までの6か月間の実施状況を調査したところ、4月から6月の提供個数は7,472個となり、1月から3月に比べ、2倍近い増加となったことから、取り組みの周知が進んだものと考えています。

また、学校からは、生理用品の提供を必要としている生徒について、家庭の状況を把握する手がかりとなったなど好意的な声が届いていることから、一定の成果があるものと認識しています。

質問 生理用品の無償提供については、市町村教育委員会への周知も含めて、今後どのように取り組むのでしょうか。

富塚教育長 県教育委員会では、今後も生理用品の無償提供の取り組みを継続するとともに、この取り組みを含め様々な機会を通じて、発達段階に応じた自分の心と体を大切に教育を実践してまいります。

また、市町村教育委員会に対しては、県立学校の実践事例について情報提供を行ってまいります。

会派要望 今後は、購入のための予算を別枠で確保するよう要望します。

常任委で学校給食無償化やタブレット端末整備などを質問

10月11日、千葉県議会9月定例県議会の文教常任委員会で質疑いたしました。質問項目と、当局の答弁、安藤の要望などを抜粋して掲載しています。

公立学校給食費無償化事業について

安藤質問 県立学校の対象者数と総額の見込みはどうか。また、来年も引き続き県として継続して事業をしていくのでしょうか。

保健体育課長 県立学校における対象者数は約370人、総額の見込みは約7百万円と見込んでおります。来年度以降の本事業の実施については、来年度の予算編成過程の中で検討してまいりたいと考えております。

安藤要望 全員無償化というのが政策の到達点だと考えています。波及効果の多い事業だと思いますので、後退することのないよう、さらに市町村への働きかけと県としての対象者拡大も併せて要望します。

教員の異動方針について

安藤質問 文科省通知によれば、全ての新規採用職員が、概ね10年以内に特別支援教育を複数年経験することとなるよう、人事上の措置を講ずるよう努めることとありますが、今後どのように進めていくのでしょうか。

教職員課長 昨年度末に文部科学省から通知された特別支援教育を担う教師の養成、採用、研修等に係る方針を受けて、今年度末に向けた本県の人事異動方針にこの趣旨を踏まえた人事配置を推進する旨を反映させたところです。

この人事異動方針に基づいて、小中学校の特別支援学級及び特別支援学校の状況を十分配慮しながら、多くの教員が特別支援教育を経験できるよう、異校種異動をはじめとした人事異動を進めてまいります。

また、この他にも各学校内でのOJTの推進や県で実施している特別支援教育に関する研修受講の促進等により、特別支援教育に関する理解を深め、専門性の向上が図られるよう努めてまいります。

安藤要望 現場に負担がかからないよう、都道府県教育委員会間でも情報共有しながら丁寧に進め、理解を深めるとともに専門性を高めていってほしいです。

県立高校のタブレット端末整備について

安藤質問 県立高校の令和5年度の新入生については、タブレットによる一人一台端末を100%整備すべきと考えていますがどういった状況でしょうか。

ICT教育推進担当課長 県教育委員会では、今年4月、令和4年度の新入生から、中学校までの学びを踏まえ、スマートフォンだけに頼ることなく、タブレット端末を活用した学びを行うよう通知したところであり、タブレット端末の整備にあたっては

生徒保護者に丁寧に説明した上で、端末購入の負担のお願いを現在もしているところです。

令和5年度入学生についても、引き続き、新入生保護者に理解を得ながら、端末購入促進の準備を進めることとしております。

安藤要望 文部科学省がパブリックコメントをかけている「学校教育情報化推進計画(案)」によれば、令和4年度中に、すべての都道府県、政令市において、高校1年生の一人一台端末環境の整備が完了する見込みです。千葉県の高校生だけが新しい学びから取り残されるわけにはいきません。令和5年度新入生の一人一台端末の環境を整備すること、購入補助について検討することだけでなく、併せて充電に必要な機器やタブレット活用に適した学習机など現場のニーズにしっかりと応えていただくことを要望いたします。

医療的ケア児の通学について

安藤質問 高等学校における医療的ケア児の受入体制はどうなっているのでしょうか。

特別支援教育課長 現在、県立高等学校で医療的ケアを実施するための看護師を必要とする生徒はおりませんが、いつ入学しても自立促進と健康で安定した学校生活を送ることができるよう、医療的ケアの実施に関する総合的な基準を示した「千葉県立中学校・高等学校における医療的ケアガイドライン」を定めているところです。

安藤要望 高校でも医療的ケア児を受入れることができるよう、ガイドラインを設けているとのことですが、現に、小・中学校には医療的ケアを必要としている生徒がいるため、高校でも学習が受けられるように寄り添っていただきたいです。

学校給食牛乳ストローレスについて

安藤質問 県内自治体でのストローレスパックの導入状況はどうでしょうか。

保健体育課長 令和4年2月にコーシン乳業が、八千代市の小中学校数校において、ストローも使用できるハイブリット型の牛乳パック使用のスクールポップテストを実施し、その後、八千代市、松戸市など8市で導入していると承知しております。

今後については、使用は学校給食の実施主体である市町村が決めるものであり、県が一律に決めることではございませんが、研修等で情報提供することは可能であると考えます。

プロフィール

安藤じゅん子(立憲民主党千葉県議会議員 松戸市選出)

1976年5月29日生まれ、松戸市立小中学校卒業後、共立女子高校・早稲田大学社会科学部卒業。出版社営業を経て2010年より松戸市議会議員。2015年より千葉県議会議員(現在2期目)。文教常任委員会委員。千葉県水道事業運営審議会委員。

FAX:050-3488-7708 Eメール:contact@andojunko.net

ホームページ

<https://andojunko.net/>

ツイッター

<https://twitter.com/andojunko>

Facebook ページ

「安藤淳子と少子化・子育てを考える会」

<https://www.facebook.com/andojunko0529/>

